

平成30年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

下永谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

【下永谷地区】

(人口) 13,209で前年度から182増加

(高齢化率) 27.48%とほぼ横ばい(但し特別養護老人ホームがある下永谷4丁目を除くと25.78%)、認知症や外出困難で生活支援を必要とする高齢者が増加しています。地域の見守り活動が少しずつ浸透してきています。近隣住民や、民生委員等の情報提供等で、助け合い連絡会のボランティア活動や介護保険サービスに繋げることが出来ました。継続して見守り体制を整えられるよう関わりました。

- ・若年性認知症、40～50歳代のガン末期、進行性難病、精神疾患に関する相談が多く、高齢の親と精神疾患の子など重複した相談も引き続き見受けられます。港南区や関係機関と連携しながら支援を継続しました。
- ・ケアプラザとして小中学校とは広報活動を通してつながりがあります。まち探検や職業体験、また行事への参加など、ケアプラザの事業を通じ多くの小学生や中学生の参加がありました。

【永野地区の一部・上永谷4～6丁目】

(人口) 5,813と前年度から118減少

(高齢化率) 27.73%で前年比1.13%上昇

- ・広大なエリアであるため、町会単位での活動が活発です。平成30年度は地域ケア会議や、支え合いマップづくりの研修等を行ないました。引き続き単会毎の地域役員と「顔の見える関係づくり」の構築に向け努めました。

【永谷地区の一部・玉興町内会＝下永谷1丁目14～16の約33世帯、みどり町内会＝下永谷2丁目15の一部を除く・下永谷2丁目33～34の約12世帯】

- ・玉興町内会とみどり町内会の一部で、高齢者と新しい住宅の若い世代が混在しています。坂が多いため足腰が弱くなると生活が窮迫しやすく、閉じこもりがちになり、孤立しやすくなるため、町内会役員と連携し支えあいや見守りに取り組みました。
- ・今年度もケアプラザの職員は担当エリアごとに情報共有を行ない、エリアごとに支え合いマップ作りを推奨しました。
- ・住民どうしがお互いに支え合うしくみづくりを創出するための啓発活動や研修等も引き続き行ないました。
- ・介護保険事業部門では必要なサービスが必要な人に提供できるようにアセスメントやモニタリング等で適宜サービス調整を行ないました。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 連合、地区社協、民生委員の会議、地域の活動（永谷川水辺愛護クリーンアップ、下永谷の昔を歩く会、チャリティ芸能大会、サロン等）に積極的に参加しケアプラザのPR活動と継続的な地域支援を行ない、ケアプラザへ来所しやすい環境作りに努めました。
- ・ 「キッズスペース」や「子どもの卓球サロン」等小学生の居場所を目的とした事業や、永野小学校、永谷小学校の個別支援級と低学年を対象とした余暇支援事業「あそびにおいでよ」を引き続き行いました。引き続き、こども・障がい分野に関する取り組みも行ってきていることを周知しました。
- ・ 下永谷連合内で8月実施された「子供の為の防災教室」を支援しました。
- ・ 区内の見守り事業の一環である「ひまわりホルダー」の広報活動や受付業務を、要望のある地域や実施していない地域に向け、所内で連携しながら行ないました。

(2) 各事業の連携

- ・ 今年度の事業として実施予定の「プランター菜園」「大人のまなび塾」「介護者のつどいささやか」「おとこのたまり場 ろまんカフェ」「さくら☼カフェ」「ドレミで10歳若がり」は地域包括支援センター、生活体制整備事業、地域活動交流事業の職員が協同で実施し、参加者から地域ボランティア活動にコーディネートしました。
- ・ 若年性認知症の方とセカンドライフ大学校OBによる畑づくり活動は、年度途中で畑の場所が変更になりましたが、町内会活動の支援を行いながら、引き続き、障がいのある方への参加を募りました。
- ・ 5職種と所長は、事業の展開、進捗状況、方向性等の振り返りを通じ、活発に連携を行いました。
- ・ 個別の相談から地域課題に至るまで、問題に直面している人が自ら解決していく力を高められるように、専門職の強みを生かし、一緒になって解決するプロセスを繰り返していきます。アイデアを出し合い、社会資源の開発等が出来るような関係性を構築できるようチームで支援しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ ケアプラザの5部門に欠員が生じないように職員配置を行ないました。
- ・ ケアプラザの職員は、公平中立を求められる立場にあり、一人一人がその役割と責務を担っていることを認識し、日々の業務を遂行しました。
- ・ 法人が掲げたキャリアパス要件に従い、働きやすい職場環境を整えました。
- ・ 各部署での内部研修や外部研修には積極的に参加を促しました。
- ・ 所内連携及び多職種連携のための会議を積極的行ないました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 地域の会議や事業に参加し、地域ニーズの把握や情報提供と、顔の見える関係づくり、協働できる体制づくりに努め、「下永谷ふるさと会議」に参加し、地区別計画の推進に取り組みました。
- ・ 自主事業を開催する中でも福祉保健計画の各テーマを意識しながら実施しました。
- ・ 福祉避難場所訓練を9月に防災拠点と連携し、要援護者の移動などを実践する予定でしたが、雨の為中止となり、一部の職員のみ参加しました。

(5) 区行政との協働

- ・地域活動交流事業、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の5部門の担当圏域において、区役所、区社協の担当職員が情報共有や地域の課題に向き合うための会議を定期的に開催しました。
- ・防災サバイバル体験やケアプラザ文化祭、餅つき大会等、地域住民と協働開催イベントでは行政機関への参加も声かけをし、顔の見える関係づくりに努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・就労世代の子育て中の父親同士の交流を目的に「プラレールのへや」や「父と子の料理教室」を行いました。その中で地域行事や福祉保健活動の情報提供を行い、また、どのような行事なら参加したいと思うかアンケートを行いました。
- ・昨年度開催時に抽出した意見を基に小中学生の保護者対象の「ママ講座（ベトナム料理教室）」を7月に開催し、地区別計画の周知及び意見抽出を行いました。
- ・地域住民を対象とした事業（「文化祭」「もちつき大会&バザー」）を開催し、ケアプラザが気軽に立ち寄れる福祉保健活動の拠点としての周知を図りました。
- ・特別支援学校や個別支援級へ通学している地域児童との繋がりやケアプラザを知ってもらうきっかけとして「なつっこ」を行いました。また、地区内小学校の個別支援級と低学年を対象とした余暇支援事業として「あそびにおいでよ」を開催しました。
- ・高齢者の引きこもり防止や介護予防・居場所づくりを目的に、囲碁将棋サロン、卓球サロン、しもかふえなどの事業を通じ、参加者同士がふれあう機会をつくりました。
- ・小学生以下の子どもと保護者が気軽に来所出来るフリースペースとして、キッズスペースと、夏休み毎日キッズスペースを行い、その中で世代間交流として昔遊び等も行いました。また、新事業として自習スペース「セルフスタディ下永谷」を行いました。
- ・「子育てサークル交流会」を区役所と共催をする事でケアプラザの周知や、他の子育て事業への参加、サークル活動へ繋げました。
- ・2歳児から3歳児と、その保護者を対象にした「子育てサロンポケットパーク」を行いました。
- ・「こどもの卓球サロン」や「お菓子作り教室」等、小学生対象の事業を開催し、子どもの行き場、居場所づくりにも努めました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ケアプラ通信や自主事業開催時に貸館利用方法について周知を行い、利用促進に努めました。
- ・最新の部屋の空き状況がわかりやすいように風除室の掲示板にて情報を更新していきます。また、ホームページでも空き状況の確認ができるようにし、新たな活動団体の利用につなげました。
- ・目的外使用でも貸館利用が出来る事を周知し、普段ケアプラザを利用しない世代の利用に繋げていくよう努めました。
- ・廊下ギャラリーでの作品展示やデイサービスでの活動発表、自主事業での発表や近隣施設等への施設外活動を含めた福祉保健団体等の活動する場の提供に努めました。
- ・QRコードを活用したメールでの事業の参加申込みも行き、開館時間外でも受け付けが出来るようにしました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・新規ボランティアの発掘を目的に「ボランティア見学会」を開催し、施設内で行っている活動の紹介と体験を行いました。
- ・「卓球サロン」など自主事業開催時等にボランティアを募り、活動のきっかけづくりに努めました。
- ・廊下ギャラリーにボランティア募集のポートを設置し、気軽に情報を持ち帰れるようにします。また、ボランティア情報配信メールの周知に努め、新たな登録会員を増やし、活動につなげました。
- ・ホームページにてボランティア募集のページを作成し、来館しなくても「情報の見える化」を図りました。
- ・小中学生の保護者を対象にした「ママ講座」を行い、地域活動へ繋げるよう努めました。
- ・ボランティア感謝祭を開催し、情報交換や活動の課題等を共有する機会を作り、連帯感形成に繋がるよう支援し努めました。
- ・地域で活動しているボランティア向けの交流会を開催しました。
- ・「ヨコハマシニアボランティアポイント」の啓発を行い、高齢者層のボランティア活動を推進しました。
- ・昨年度抽出した意見を参考に「いつ・どこで・何をしてほしいか」を具体的に明記し、募集しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・廊下ギャラリーに情報を気軽に持ち帰られるボードを設置し、自主事業、ボランティア募集、参加者募集の情報が分かるようにした情報発信を行いました。
- ・ケアプラザの自主事業や福祉保健活動団体等の情報をまとめた「しもながやグループガイド」を引き続き更新していき、情報提供出来るよう整備しました。
- ・子育てとボランティアの情報配信メールを行い、対象に合わせた情報提供を行いました。
- ・「ケアプラザ通信」を6回/年発行し、ケアプラザの事業や福祉保健活動団体を紹介し、ケアプラザの活動や取組みと併せて情報提供しました。
- ・病院や薬局、コンビニ、エリア内の福祉事業所、地域の方が立ち寄りやすい場所にポスターの掲示や広報紙の配架を更に行い、情報発信や広報を行いました。
- ・自主事業参加者や地域住民との会話の中から情報収集をし、福祉保健活動に繋がるよう努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・下永谷連合エリアでは西港南台自治会、八木台町内会でマップ作成に取り組みを開始しており、5職種でそれぞれの実情に合わせた支援を行ないました。今後も他の自治会・町内会にマップ作りの目的を周知し展開しました。
- ・永野連合エリアでは菱興上永谷自治会の中で主要になるメンバーを選出し、マップ作りについての研修を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・永野連合エリア内や高齢者住宅へ地域ニーズのアンケートを実施しました。
- ・「しもながや粋イキガイド」の更新を行い、一覧表を作成し、相談窓口やケアマネジャーへ情報提供できるようにしました。
- ・近隣介護事業所へ地域貢献状況の把握調査を行い、地域のニーズとマッチングしていきます。

(3) 連携・協議の場

- ・下永谷連合エリア内の協議体は定期開催し、地域課題に向き合い、実践につなげることができました。
- ・菱興上永谷自治会の中で支え合いマップ作りを推奨していきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・港南区、近隣区の生活支援コーディネーターと情報共有し、広域の課題把握を進めていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

（1）総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・下永谷地区社協たすけあい連絡会の活動活性化の支援として、地域住民への周知をすすめる、登録ボランティアの活動できる機会を提供しました。
- ・地域の会合への出席や出前講座の開催を通じて地域包括支援センターの役割を周知し、地域住民との関係づくりに努めました。
- ・地域ケア会議を開催し、医療機関や民生・児童委員等の地域関係者、地域住民の生活に密着した様々な関係機関と地域課題の共有化を図り、地域支援のネットワークの構築につながるよう努めました。
- ・民生・児童委員、友愛活動員、ケアマネジャー等との連絡会を開催し、連携の強化を図りました。
- ・エリア内の社会資源が入ったマップ作りを5職種で作成し、共有を図りました。

②実態把握

- ・相談実績から町内別相談件数、内容を分析し、高齢化率や地域環境などを照らし合せ、地域の特徴を把握しました。
- ・講座等の開催時にはアンケート調査を実施しニーズを把握して事業展開をしました。
- ・地域での活動グループの情報収集や活動への参加を通じて、住民相互のつながりや課題の実態把握に努めました。

③総合相談支援

- ・地域活動交流や生活支援コーディネーターとの協働により事業を展開し、地域ケアプラザ、地域包括支援センターの周知を行いました。
- ・男性向けのサロン“ろまんカフェ”を開催し、男性が集い、気軽に話しができる場を提供し、仲間や生きがいづくりにつなげることができました。
- ・相談内容を的確に把握し、内容に応じた適切な情報を提供します。必要に応じ関係機関や制度、事業、インフォーマルサービスにつなげました。
- ・地域コミュニティや介護サービスにつながらない孤立化傾向の高齢者を訪問し、継続的な支援を行ないました。
- ・終末期にある方や精神疾患等の相談では医療や区など関係機関と連携し、速やかな対応と支援を行ないました。
- ・民生・児童委員や地域住民からの情報には同行訪問するなどして状況把握し、必要な支援を行ないました。
- ・相談実績から町内別の地域特性やニーズを把握し、講座や相談会を開催しました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度の普及啓発のため、地域住民向けの講座を開催しました。
- ・成年後見制度申立てでは、個々の状況に応じた説明や支援を行ない、必要であれば関係機関につなげ、区長申立ての必要なケースについては、早い段階で区との情報共有や検討を進めました。
- ・消費者被害については住民向けに新しい情報を発信するなどして防止について取り組みました。

②高齢者虐待への対応

- ・区内社福士分科会の協働で、区内ケアマネ連絡会で研修を開催し、虐待の基礎知識を周知しました。
- ・民生・児童委員を対象に高齢者虐待の研修の開催を提案しました。
- ・アンケート結果にもとづき、介護者のニーズに合わせた集いを開催し、介護者のストレス軽減やリフレッシュ、仲間づくりを支援しました。
- ・併設デイサービスとの協働により家族会を開催します。より多くの方が参加できるよう、必要な方には送迎を行ないました。
- ・虐待が疑われる相談では、リスクアセスメントシートを活用し、区との役割分担にもとづき早い段階での対応をしました。

③ 認知症

- ・担当地域内のグループホームより場所を提供してもらい、認知症カフェ“さくら♫カフェ”の開催を継続し、移動が困難な高齢者には送迎するなどして外出を支援しました。
- ・カフェでは地域住民とグループホームの入居者が交流することで、地域の認知症理解につなげました。また、キャラバンメイトやボランティアの活動機会を提供しました。
- ・若年性認知症の方の通える場として、畑づくりの活動を継続しています。認知症の方だけではなく、孤立や閉じこもり傾向等の方も受入れし、地域とつながるきっかけを提供しました。
- ・地域のキャラバンメイトとの協力で地域のサロンなどで地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、安心して暮らせる地域づくりを推進しました。
- ・区内の社福士分科会の共催で若年性認知症とその家族の集いを開催しました。
- ・介護者を対象として「ささやか」を開催し、介護ストレスの軽減や介護者同士の仲間づくりを支援しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・民生・児童委員とケアマネジャー等との連絡会を8月に開催し、地域課題の共有を図ることで、民生・児童委員と専門職、関係機関とのスムーズな連携について話し合いました。
- ・民生・児童委員の定例会に出席し情報共有、情報交換等により連携を図りました。
- ・圏域のグループホーム、小規模多機能居宅介護等で開催される運営推進会議に出席し、地域課題の把握に努めました。
- ・圏域の町内会館等へ出向き「包括出前講座」や「ひまわりホルダー登録会」等を開催し、地域ぐるみの見守りを推進するとともに、地域包括支援センターの周知につなげました。
- ・地域のボランティア団体「絆塾♥下永谷」では実行委員として連携しました。
- ・地域住民、ケアマネジャー等を対象にケアプラザ協力医による医療相談室を開設しました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・「医福ネット港南」を区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーが医福ネット港南の世話人とともに年3回開催しました。医師の講演等による医療情報や交流を通じたネットワークを構築に向け多職種に参加につなかりました。2月（第三回）は区役所の在宅医療人材育成研修として区と医福ネットの合同開催をしました。
- ・地域ケア会議では、医療、介護、地域住民等幅広く関係者を招集し、個別の課題や包括圏域の課題解決に向けた議論が展開できるよう取り組みました。
- ・在宅での服薬管理や残薬等の課題に取り組めるよう在宅支援に取り組んでいる薬局薬剤師を中心にアプローチをしました。
- ・圏域の医療機関、在宅医療連携拠点等と連携、協働し、地域住民向けの医療講座等を開催しました。
- ・介護関係機関やケアマネジャー等を対象にケアプラザ協力医による医療相談室を開設しました。
- ・主治医・ケアマネジャー連絡票とケアプランを持参し担当エリアの医療機関を個別訪問し、医師とケアマネジャーの連携を支援しました。
- ・協力医による医療講演会を開催しました。

③ケアマネジャー支援

（区内地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会協働）

- ・「初級ケアマネジメント講座」（新任・就労予定ケアマネジャー対象）を区役所と地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会（以下、分科会）が協働で企画運営し、ケアマネジャーの質の向上につなげました。
- ・「中級ケアマネジメント講座」を区役所と分科会が協働で企画し、区内居宅介護事業所に呼びかけ開催します。講座内容についてはケアマネジメントの今後の方向性を見据えて企画運営をしました。
- ・区内の自主学習グループに分科会の主任ケアマネジャーが輪番で参加し継続的に支援をします。参加後は分科会に報告を行ない区内で共有しました。
- ・「ケアマネ・サロン」を毎月運営し、介護保険最新情報を反映したケアマネジャー自身の勉強の機会とし、他事業所のケアマネジャー同士が情報交換のできる場づくり（連携支援）をしました。

（下永谷地域包括支援センター）

- ・民生・児童委員とケアマネジャー等との連絡会を8月に開催し、地域課題の共有を図ることで、民生・児童委員と専門職、関係機関とのスムーズな連携について話し合いました。
- ・サービス担当者会議やケースカンファレンス等に出席して得られるケアマネジャーからの情報を、地域住民の課題と捉え、地域に必要なサービスの検討に活かしました。
- ・地域包括支援センター担当エリア内外の居宅介護事業所のケアマネジャーに地域情報を訪問等により提供し、ケアマネジャーが担当する利用者が生活している地域で一体となり支援できる基盤づくりをしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別及び包括圏域の地域ケア会議を通じて、医療・介護・地域住民を含む多職種連携を行いました。
- ・個別ケースは障がい支援関係機関からの相談を受け、関係者と今後の支援に関係すると考えられる団体、個人の参加により、支援方法の確認と役割分担をしました。包括レベルでは日頃の見守りについて、地域、ケアマネジャーを中心に見守りのあり方について基本的理解を共有し、次年度につながるようテーマを選定しました。
- ・地域ケア会議開催後の振り返りを行ない、課題解決に継続的に取り組みました。
- ・民生・児童委員とケアマネジャー等との連絡会を開催し、専門職と地域住民が協働し見守り等ができる土壌づくりを行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・制度改正に伴う事務処理を的確に行なうと共に、利用者や事業者への説明を適宜行ない安心してサービスを利用できるようにしました。
- ・介護予防ケアマネジメント研修の実施に伴い、包括と区役所で協力しました。
- ・介護保険外のサービスや社会資源を活用したケアプラン作成を行ない、自立を目指したプラン作成をし、ケアマネジャーにも提案や助言をしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・介護予防講座を住民が参加しやすいように身近な場で開催し、介護予防に必要な取り組みについて理解が得られるよう、引き続き普及啓発活動に努めました。
- ・「ドレミで10歳若がり」(音楽療法)を認知症予防の取り組みとして周知を図り、随時、参加を募りました。
- ・身近な町内・自治会館の既存のサロン等を活用し、GOGO健康講座を開催しました。
- ・「口腔ケア」に関心が高い「栄養」と一緒にした講座を開催し、参加を募りました。
- ・シルバークラブや高齢者住宅等に出向いて出前講座を開催しました。
- ・集合住宅のイベントで体力測定や保健活動推進員主催の健康教室の支援を引き続き行ないました。
- ・ケアプラザ以外を会場に活動しているグループへの活動の場に赴き、年1回の交流会を通じて、地域の課題把握に努めます。年1回研修会と交流会を開催し、役立つ知識の提供や新たな担い手の発掘や育成につながるよう支援を行ないました。
- ・相談者の活動の場が広げられる様、さまざまな活動の参加につなげることができました。
- ・「しもながや粋イキガイド」を社会資源のひとつとして周知を図るために、一覧表版を作成して相談窓口を設置し、ケアマネジャーへの配布を行ないました。

■ 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 専門業者による施設の定期清掃、設備保守点検、消防点検等は協定書どおり行ない、不具合箇所は速やかに改善策を講じました。
- ・ 館内外の日常清掃は毎日職員が実施し、14項目の点検シートに従い書面にてチェックしています。清掃業務は平成28年度から障がい者雇用の促進取組も行ない働く場の提供に繋がりました。
- ・ セキュリティ面の強化の為、警備会社と委託契約を行ない、火災、ガス漏れ、不法侵入行為を防ぐための端末感知器を設置しています。
- ・ 施設の衛生管理としては衛生委員会を設置し、感染症マニュアル等を使用し、食中毒、インフルエンザ等の注意喚起を促し蔓延防止に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 各部署での会議等で事業の取り組みや運営状況に関する話し合いを行ない、業務改善や職員の資質向上のための情報を共有しました。
- ・ 部署毎にアンケートを実施し、講座やイベントの参加者からは紙ベースで意見抽出を行ない、個別ニーズや地域ニーズの把握を行ない事業運営に反映することができました。
- ・ 全事業共通の目標とそれぞれの目標を設定し、連携を行ないました。
- ・ チームワークとコミュニケーションの円滑化を目指しました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情発生時は、受付対応職員から担当部署の苦情受付責任者に報告をし、所長に報告し、迅速な対応を心がけ誠意をもって対応しました。
- ・ 苦情の再発防止のための会議は随時行ない、情報の共有を図りました。
- ・ 苦情受付対応表を使い港南区に報告しました。
- ・ 法人のホームページで下永谷地域ケアプラザの苦情受付責任者を明示しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防犯業務として機械警備、センサー等による取組を行ない、日々の業務は複数の職員が事務所に勤務し、警察、消防への連絡体制を整えました。
- ・ 来館者への声だし挨拶を励行し、不審者かどうか職員が確認を行ないました。
- ・ 多様な目的を持った地域利用者が日々来館する施設で或ることから、緊急時に素早く避難対応ができるよう貸館各部屋や事務室など「避難経路図」を掲示しました。
- ・ 年2回の防災訓練では消防署の指導の下、初期消火、ご利用者の避難誘導等、冷静な判断が行える様な体制を整えました。
- ・ 書類やパソコンは鍵のかかる所に保管し、物品管理を徹底しました。
- ・ 応急備蓄の適切な管理を行ないました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日々の業務ではミーティング時に事故事例やマニュアルを用い、注意喚起を促し、大きな事故につながらないようにしました。また事故発生時は再発防止の会議で周知徹底を図りました。
- ・ 月単位では各部署で事故防止対策マニュアルを活用しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報を含む書類やパソコンの記憶媒体は鍵のかかる場所に保管しています。パソコンは、パスワードを設定し、所外への書類持ち出しに関してはチェック表に記載し管理しました。個人情報保護に関する研修は年度始めとその他適宜行ないました。

キ 情報公開への取組について

- ・ ケアプラザ内の掲示や、ケアプラ通信、法人のホームページを活用し貸館の空き情報やイベント情報等、ケアプラザのパンフレットのQRコードからホームページが閲覧できるような体制を整えました。
- ・ 近隣の病院や薬局、コンビニエンスストア等に・ケアプラザのチラシの配架を拡大しています。更なる広報拡大を図りました。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 下永谷地域ケアプラザのエリア内の町内会館やシルバー、地域の有志が中心になって開催しているサロンや小学校等で認知症や成年後見制度の啓発事業を開催し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めました。
- ・ 昨年に引き続き就労支援の事業所との繋がりを継続し、地域で活躍できる場を提供しました。
- ・ 障がい者が通う地域の作業所には、手作りパンやクッキーなどの販売を依頼するなど、地域住民と触れ合う機会を作りました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 平成30年度も昨年度に引き続き、ペーパーレス会議やコピー用紙裏面使用、インクカートリッジの回収箱設置、テプラ回収箱設置、資源ごみの徹底化によるごみの消滅など、分別回収の促進に取り組みました。
- ・ 節電行動計画による照明をこまめに消し、冷暖房の設定温度を市が推奨する温度としました。

■介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・地域包括支援センター 常勤3名
- ・介護予防プランナー 非常勤2名

《目標》

- ・高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすことが出来るようご支援します。
- ・自ら生活課題に取り組み、目標をもって自立生活を目指せるようご支援します。
- ・介護保険以外の社会資源も活用していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域住民が主体的に介護予防や地域活動に参加できるよう、会合や出前講座等で周知を図りました。
- ・地域包括支援センター、地域活動交流、日常生活支援コーディネーター、プランナー、居宅介護支援事業所、サービス事業所、医療機関等多職種と連携を図り、ケアマネジメントやサービスの質の向上に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	143	149	146	148	156
10月	11月	12月	1月	2月	3月
153	152	151	156	154	159

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 介護支援専門員 常勤3名 非常勤 2名
1名のケアマネジャーが35名を超えないよう配慮して行きます。

《目標》

- ・ 利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるよう利用者や家族の意向に添ったケアプラン作成を行ないます。
- ・ 地域包括支援センターからの困難事例の積極的な受け入れを行ない、地域の社会資源や民生・児童委員、行政機関、地域医療との連携を行ないます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ 通常のサービス実施区域外の訪問や出張する場合は、その旅費を頂く場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 特定事業所加算Ⅱを算定しています。主任ケアマネジャーを配置し、包括支援センターからの困難事例受け入れや、24時間連絡の取れる体制を整えました。

《利用者実績》

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
141	140	143	143	143	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
145	145	141	138	143	142

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎 ●入浴 ●食事の提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | | |
|-----------|--------|--------------------|--------|
| ● 1割負担分 | | ● 1割負担（認知症対応型通所介護） | |
| （要介護1） | 599円 | （要介護1） | 1,072円 |
| （要介護2） | 708円 | （要介護2） | 1,188円 |
| （要介護3） | 816円 | （要介護3） | 1,305円 |
| （要介護4） | 926円 | （要介護4） | 1,422円 |
| （要介護5） | 1,034円 | （要介護5） | 1,539円 |
| ● 食費負担 | 680円 | | |
| ● 当日キャンセル | 680円 | | |

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00～15:15（通所介護）
9:15～16:15（認知症対応型通所介護）

《職員体制》

- | | | | |
|--------------|-----|-----------------|----|
| ・管理者 | 1名 | ・看護職員（非常勤兼務） | 5名 |
| ・生活相談員（常勤職員） | 5名 | ・機能訓練指導員（非常勤兼務） | 5名 |
| ・介護職員（常勤兼務） | 5名 | ・調理員（非常勤兼務） | 6名 |
| （非常勤兼務） | 18名 | ・運転手（非常勤兼務） | 7名 |

《目標》

- ・個別の通所介護計画を基に個々のニーズを把握し潜在能力を引き出すようなプログラムを実施し身体機能の維持向上を目指します。
- ・サービスの質の向上を図るため、研修を計画的に行ない、チーム力の強化に努めます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・昼食は季節感のあるものを取り入れ、松花堂弁当箱を毎月定期的に使用し、見た目の工夫をしました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
887	944	913	912	920	877
10月	11月	12月	1月	2月	3月
874	868	836	769	694	877

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎 ●入浴 ●食事の提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（介護予防・第1号通所事業）（介護予防認知症対応型通所介護）
（事業対象者） 円
- （要支援1） 1,766円 （要支援1） 927円
- （要支援2） 3,621円 （要支援2） 1,036円
- 食費負担 680円
- 当日キャンセル 680円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:00～15:15（介護予防通所介護・第1号通所事業）
9:15～16:15（介護予防認知症対応型通所介護）

《職員体制》

- ・管理者 1名 ・看護職員（非常勤兼務）5名
- ・生活相談員（常勤兼務）5名 ・機能訓練指導員（非常勤兼務）5名
- ・介護職員（常勤兼務）5名 ・調理員（非常勤兼務）6名
- （非常勤兼務）18名 ・運転手（非常勤兼務）7名

《目標》

- ・個別の通所介護計画を基に個々のニーズを把握し、潜在能力を引き出すようなプログラムを実施し、身体能力の維持向上を目指します。
- ・サービスの質の向上を図るため、研修は計画的に実施しチーム力の強化に努めます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・昼食は季節感のあるものを取り入れ、松花堂弁当箱を毎月使用し、見た目の工夫をしました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
32	31	33	32	31	31
10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	32	31	32	33	35

**平成30年度「下永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,513,500	319,140	14,832,640	14,832,640	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	87,850	△ 87,850	
雑入	3,587,500		3,587,500	190,249	3,397,251	
印刷代	0		0	18,830	△ 18,830	
自動販売機手数料			0	150,849	△ 150,849	
駐車場利用料収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	3,587,500		3,587,500	20,570	3,566,930	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0		0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	18,101,000	319,140	18,420,140	15,110,739	3,309,401	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,650,000	0	9,650,000	11,231,866	△ 1,581,866	
本俸	6,394,050		6,394,050	7,537,657	△ 1,143,607	
社会保険料	757,579		757,579	992,821	△ 235,242	
手当計	2,349,932		2,349,932	2,525,001	△ 175,069	
健康診断費	20,260		20,260	35,925	△ 15,665	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	86,722		86,722	90,399	△ 3,677	
その他	41,457		41,457	50,063	△ 8,606	
事務費	1,563,000	0	1,563,000	1,558,919	4,081	
旅費	15,943		15,943	9,105	6,838	
消耗品費	550,425		550,425	424,064	126,361	
会議謝儀費	0		0	0	0	
印刷製本費	9,343		9,343	5,549	3,794	
通信費	361,057		361,057	396,550	△ 35,493	
使用料及び賃借料	21,804	0	21,804	23,169	△ 1,365	
横浜市への支払分	21,804		21,804	23,169	△ 1,365	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	393,672		393,672	464,094	△ 70,422	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	38,877		38,877	38,808	69	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	265		265	756	△ 491	
リース料	33,420		33,420	33,420	0	
手数料	29,392		29,392	33,047	△ 3,655	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	108,802	0	108,802	130,357	△ 21,555	
事業費	392,000	0	392,000	323,179	68,821	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,871	29,129	
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	310,308	39,692	
管理費	5,724,000	319,140	6,043,140	5,998,696	44,444	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	3,550,000	0	3,550,000	3,264,158	285,842	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	220,000		220,000	286,676	△ 66,676	
修繕費	474,000	319,140	793,140	778,849	14,291	
機械整備費	253,000		253,000	300,607	△ 47,607	
設備保全費	767,000	0	767,000	855,745	△ 88,745	
空調衛生設備保守	540,000		540,000	590,409	△ 50,409	
消防設備保守	40,000		40,000	44,196	△ 4,196	
電気設備保守	20,000		20,000	23,333	△ 3,333	
害虫駆除清掃保守	57,000		57,000	63,069	△ 6,069	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	110,000		110,000	134,738	△ 24,738	
共益費	460,000		460,000	512,661	△ 52,661	
その他			0	0	0	
公租公課	772,000	0	772,000	898,549	△ 126,549	
事業所税			0	0	0	
消費税	772,000		772,000	898,549	△ 126,549	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	18,101,000	319,140	18,420,140	20,011,209	△ 1,591,069	
差引	0	0	0	△ 4,900,470	4,900,470	

自主事業費収入			0	87,850	△ 87,850	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	310,308	△ 310,308	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 222,458	222,458	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「下永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,251,000	0	23,251,000	23,251,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	137,350	△ 137,350	
雑入	0	0	0	73,369	△ 73,369	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	41,369	△ 41,369	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	32,000	△ 32,000	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	29,191,000	0	29,191,000	29,401,719	△ 210,719	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,680,000	0	24,680,000	24,053,468	626,532	
本俸	13,823,512		13,823,512	14,564,997	△ 741,485	
社会保険料	3,140,985		3,140,985	3,037,275	103,710	
手当計	7,006,295		7,006,295	5,831,893	1,174,402	
健康診断費	44,693		44,693	39,525	5,168	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	435,080		435,080	384,091	50,989	
その他	229,435		229,435	195,687	33,748	
事務費	1,565,000	0	1,565,000	1,544,817	20,183	
旅費	54,185		54,185	42,451	11,734	
消耗品費	340,654		340,654	291,113	49,541	
会議随い費	1,118		1,118	0	1,118	
印刷製本費	17,665		17,665	17,293	372	
通信費	309,089		309,089	369,031	△ 59,942	
使用料及び賃借料	5,796	0	5,796	6,159	△ 363	
横浜市への支払分	5,796		5,796	6,159	△ 363	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	125,861		125,861	568,002	△ 442,141	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	35,402		35,402	37,630	△ 2,228	
職員等研修費	17,583		17,583	16,044	1,539	
振込手数料	6,928		6,928	7,316	△ 388	
リース料	0		0	0	0	
手数料	95		95	0	95	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	650,624	0	650,624	189,778	460,846	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	913,296	276,704	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	
指定管理料充当 事業（包括）	100,000		100,000	162,018	△ 62,018	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	348,278	△ 39,278	
管理費	1,756,000	0	1,756,000	1,509,743	246,257	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	997,000	0	997,000	867,687	129,313	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	93,183		93,183	76,204	16,979	
修繕費	126,000		126,000	122,195	3,805	
機械警備費	97,614		97,614	79,907	17,707	
設備保全費	282,843	0	282,843	227,474	55,369	
空調衛生設備保守	189,795		189,795	156,943	32,852	
消防設備保守	16,710		16,710	11,748	4,962	
電気設備保守	9,422		9,422	6,202	3,220	
害虫駆除清掃保守	22,060		22,060	16,765	5,295	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	44,856		44,856	35,816	9,040	
共益費	159,360		159,360	136,276	23,084	
その他			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,191,000	0	29,191,000	28,021,324	1,169,676	
差引	0	0	0	1,380,395	△ 1,380,395	

自主事業費収入	0		0	137,350	△ 137,350	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	661,296	△ 661,296	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 523,946	523,946	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 下永谷地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 下永谷地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知対応型通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3018	3832	-814	29153	30657	-1504	80020	66172	13848	15834	16436	-602	15265	9942	5323
	その他	5292	5252	40	6632	7384	-752	210	18756	-17336		3167	-3167		2934	-2934
	介護予防ケアマネジメント費	5292	5252	40			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0		15306	-15306		3167	-3167		2934	-2934
	認定調査			0	389	355	34			0			0			0
	委託事業			0	773	904	-131			0			0			0
	事業							208	1417							
	サービス区分間			0	5446	6122	-676			0			0			0
	補助金															
	雑収入								2							
	受取利息配当							2	1							
	その他			0	24	3	21		2030	-2030			0			0
	収入合計(A)	8310	9084	-774	35785	38041	-2256	80230	84928	-4698	15834	19603	-3769	15265	12876	2389
支出	人件費			0	26856	26698	158	79736	81754	-2018			0			0
	事務費			0	1401	1350	51	6798	3142	3656			0			0
	事業費			0			0	11042	14556	-3514			0			0
	管理費			0	24	81	-57	9836	10423	-587			0			0
	その他	8310	9084	-774	6831	8898	-2067	3701	7028	-3185		0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	15		15			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2397	2962	-565			0			0			0			0
	ファイナンス・リース			0	530	530	0	530	530	0			0			0
	サービス区分間	5913	6122	-209	2301	3368	-1067	2156	1327	829			0			0
	拠点区分間			0	4000	5000	-1000	1000	3000	-2000			0			0
	固定資産								142							
その他			0			0		2029	-2029			0			0	
	支出合計(B)	8310	9084	-774	35112	37027	-1915	111113	116903	-5648	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	673	1014	-341	-30883	-31975	950	15834	19603	-3769	15265	12876	2389

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ドレミで10歳若返り講座	①高齢者	134,000	地活						
	②140名		包括	32,000					
	③500円		生活	32,000		35,000		61,000	6,000
人生設計講座 〈大人のまなび塾〉	①地域	24,266	地活						
	②10名		包括	14,266		10,000		11,909	12,357
	③1000円		生活						
プランター菜園	①地域	4,656	地活	780		1,550			2,329
	②③200円×13名		包括	776		1,550			2,327
	②③100円×5名		生活						
さくら☺カフェ	①地域	4,820	地活						
	②59名		包括						
	③100円		生活			2,950			2,410
ひまわりホルダー	①高齢者	32,400	地活						
	②③300円×53名		包括	15,900		16,500		32,400	
	②③追加200円×3名		生活						
ろまんカフェ	①高齢者	5,747	地活						
	②115名		包括						
	③100円		生活			5,750			3,141
男の料理	①高齢者	13,488	地活						
	②③300円×24名		包括	1,888		11,600		13,488	
	②③400円×11名		生活						
認知症の理解を深めよう	①地域	6,914	地活						
	②9名		包括	4,214		2,700		6,914	
	③300円		生活						
介護者のつどい ささやか	①地域	409	地活						
	②47人		包括	409					409
	③0円		生活						
太極拳	①高齢者	2,787	地活						
	②22名		包括						
	③100円		生活	587		2,200			2,787
ネイル教室	①地域	7,020	地活						
	②18名		包括						
	③300円		生活	1,620		5,400		7,020	
協議体	①地域	17,078	地活						
	②98名		包括						
	③0円		生活	17,078					17,078
マップ作り	①地域	756	地活						
	②39名		包括						
	③0円		生活	756				324	432
ティラ	①地域	4,318	地活	4,318				108	4,210
	②117名		包括						
	③0円		生活						
プラレールの部屋	①小学校3年生以下の児童	269	地活	269				269	
	②195名		包括						
	③0円		生活						
絆塾・サバイバル体験会	①地域	19,328	地活	9,665					9,665
	②112名		包括	9,663					9,663
	③0円		生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
絆塾・ケアプラザ文化祭	①地域	23,740	地活	23,740				23,740	
	②348名		包括						
	③0円		生活						
絆塾出前講座	①地域	3,676	地活	1,276	2,400			3,676	
	②12名		包括						
	③200円		生活						
しもかふえ	①地域	4,496	地活		6,900				4,496
	②69名		包括						
	③100円		生活						
歌声広場	①地域	61,248	地活	21,748	39,500		61,248		
	②395名		包括						
	③100円		生活						
ママ講座 ＜ママのための“ベトナム料理教室”＞	①小中学生の児童がいる母親	16,728	地活	9,728			5,568		11,160
	②7名		包括		7,000				
	③1,000円		生活						
子育てサロン 「ポケットパーク」	①乳幼児	26,302	地活	26,302			23,386	1,728	1,188
	②381名		包括						
	③0円		生活						
子育てサークル交流会	①乳幼児	7,540	地活	7,540			6,682	432	426
	②106名		包括						
	③0円		生活						
父と子の料理教室	①小学生と保護者	8,277	地活	4,277	4,000			8,277	
	②16名		包括						
	③250円		生活						
こうなんなつっこ	①学齢障がい児	34,029	地活	29	14,000	20,000	6,682	18,347	9,000
	②7名		包括						
	③2,000円		生活						
カップケーキを作ろう	①乳幼児	9,153	地活	7,653	1,500		5,568	3,585	
	②6名		包括						
	③250円		生活						
もちつき大会&バザー	①地域	60,483	地活	60,483				60,483	
	②532名		包括						
	③0円		生活						
部屋利用団体交流会	①施設利用団体	7,585	地活	7,585					7,585
	②41名		包括						
	③0円		生活						
平戸永谷川さくらまつり	①地域	7,761	地活		9,800			7,761	
	②196個		包括						
	③50円		生活						
ボランティア感謝祭	①施設登録ボランティア	14,655	地活	14,655					14,655
	②28名		包括						
	③0円		生活						
あそびにおいでよ	①個別支援級児童	4,454	地活	4,454			4,454		
	②12名		包括						
	③100円		生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人のまなび塾	目的：高齢でも地域で安心して暮らせる環境づくり。 地域支援の担い手としての仲間づくりや ケアプラザ、地域に関心を持つきっかけづくり。 成年後見制度の普及啓発。 内容：①誰でもできるストレッチ体操 ②初めての方の蕎麦打ち講座 ③役立つ後見制度 ④元気なうちからお片付け	6月・4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ろまんカフェ	目的：男性が気軽に集い、話してできる機会をつくり、 新しい出会いや趣味的な活動を通じての 仲間づくり。 地域でのボランティア活動等の担い手につなげる。 内容：茶話会等	6月～3月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理	目的：地域で安心して生活できる環境づくりと地域の 担い手 の育成。 内容：料理教室①スパニッシュオムレツ ②ポテトサラダ・オープンサンド ③餃子	9月、11月、 2月、 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい ささやか	目的：介護による悩みや心配事を解決する。 茶話会などを通じて介護者同士の繋がりをつくり 介護によるストレスを軽減していく。 内容：①施設見学 ②デイサービス家族会 ③お薬について	6月、10月、 2月、 3回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さくら☪カフェ	<p>目的：認知症の本人やその家族がほっと一息つけて安らげる居場所づくり。認知症になっても、社会や地域とつながりを持ち続けることができる場を提供すると共に、地域住民に認知症についての正しい知識と理解をもってもらおう。</p> <p>内容：茶話会/音楽演奏/個別相談</p>	5月、9月、11月、3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳	<p>目的：地域住民の健康づくりの活動を広げ、健康寿命を延ばす。交流会を開き、地域課題や意見抽出を行う。</p> <p>内容：太極拳</p>	4月から3月で、月2回ずつ24回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協議体	<p>目的：高齢者・要支援者の方が地域で、安心して自分らしく暮らし続けるため、外出の支援についての方法や連携について意見交換し、実践に繋げる。</p> <p>内容：会議、地域の高齢者の夕食会開催</p>	5/28, 8/20, 10/22, 12/17, 1/15, 2/18, 3/18 計7回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マップ作り	<p>目的：地域の方が要援護者の情報を出し合い、「家族の情報」「関係性」「課題」を地図に落とし込み、地域住民の情報を見えるようにし、どう関わったらよいかを住民と関係機関が協力し実践する。</p> <p>内容：マップ会議の開催、研修会の開催</p>	5/7, 6/21, 6/23, 7/9, 9/10, 11/4, 11/12, 1/21, 3/7 計9回開催

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ドレミで10歳若 がえり	介護予防講座から立ち上がり平成28年9月から開始している音楽療法。懐かしい歌と笑いで口腔ケアと認知症予防を実践している。	4/26, 5/24, 6/28, 7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22, 12/27, 1/24, 2/28, 3/28 計12 回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症の理解を 深めよう	9/21世界アルツハイマーデーであることから9月に認知症関連の講座を開催。テーマは「～やさしい地域をめざして～認知症の理解を深めよう」。①認知症サポーター養成講座、②音楽療法・口腔ケア、③認知症の人の気持ち～私たちに出来ること～、④認知症になりにくいクッキング。	9/7, 9/14, 9/21, 9/28 計4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわりホル ダー	平成28年10月に港南区福祉保健課事業企画と区内ケアプラザ共催で開始された事業。港南区在住65歳以上の高齢者を対象に予め緊急連絡先やかかりつけ医等の情報を登録し、急病等万一の際にその情報を消防や警察の機関へ提供する。登録料300円、キーホルダー追加200円。	適宜、申込時対応。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ネイル教室	<p>【目的】 地域活動団体の周知や情報提供、地域のつながりや交流の場づくり</p> <p>【内容】 ネイル教室を開催し、ボランティアの育成をしました。講座終了後練習会をし、ケアプラザのデイサービスや近隣の特別養護老人ホームの利用者へネイルをしに行きました。</p>	<p>【時期】 11月8日</p> <p>【回数】 1回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絆塾・下永谷 ケアプラザ 文化祭	<p>【目的】 地域活動団体の周知や情報提供、地域のつながりや交流の場づくり</p> <p>【内容】 ケアプラザの部屋を利用している貸館団体の活動発表や展示、体験コーナーの実施。その他、地域ケアプラザの機能の紹介や、作業所のパン販売、中学生ボランティアによるフェイスペイントも行いました。</p>	<p>【時期】 6月30日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 実行委員会	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくりとして開催します。</p> <p>【内容】 住民の皆様が地域で行いたいことや勉強したいことを企画検討する実行委員会。恒例となっている「サバイバル体験会」や「ケアプラザ文化祭」の内容等の検討、決定、準備を行う他、次年度の計画、事業の企画を検討しました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 サバイバル 体験会	<p>【目的】 地域の交流と減災の啓発を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>(4月開催) 実際の防災拠点の図を使用して「HUG（避難所運営ゲーム）」を行い、その後ポリ袋を使った「サバイバルクッキング」を行いました。</p> <p>(3月開催) 下永地区の中にある災害に関する標識や一時避難施設を確認しながら歩く「サバイバルウォーキング」とポリ袋を使った「サバイバルクッキング」を行いました。</p>	<p>【時期】 4月28日 3月23日</p> <p>【回数】 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ 廊下ギャラリー	<p>【目的】 担い手・人材の育成</p> <p>【内容】 ケアプラザの廊下の壁面に、地域住民や近隣保育園児が制作した絵画や写真作品等の展示。その他自主事業の紹介や参加者及びボランティア募集の情報提供を行いました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	<p>【目的】 ケアプラザにてボランティア活動をしてくださっている方との意見交換やボランティア同士の交流の場。</p> <p>【内容】 ケアプラザでボランティア活動している活動の内容や課題の報告や意見交換等、交流会を開催しました。</p>	<p>【時期】 3月19日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア見学会	<p>【目的】 担い手・人材の発掘</p> <p>【内容】 地域住民を対象とした見学会。デイサービスでの活動の見学・体験を行いました。</p>	<p>【時期】 2月4日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しもかふえ	<p>【目的】 地域での仲間づくり。交流の場づくり。地域の方が自宅に引きこもることなく気軽に集える居場所</p> <p>【内容】 参加者同士でお茶を飲みながらコミュニケーションを図る場として開催しました。ボランティアによるレクリエーションや楽器演奏など、ボランティアの活躍の場にもなりました。</p>	<p>【時期】 最終月曜日</p> <p>【回数】 10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン「ポケットパーク」	<p>【目的】 未就園児親子の子育て支援、遊びや地域資源の紹介をする。交流や情報提供の場として開催。</p> <p>【内容】 未就園児（2～3歳）と保護者を対象とした子育てサロンとして近隣保育園や講師による月替わりのプログラムや絵本の読み聞かせを実施しました。や部屋利用団体の協力を得ながら子どもたちにクリスマスプレゼントを渡しました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 10回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あそびにおいでよ	<p>【目的】 障害児の余暇活動支援。エリア内小学生の居場所、つながり作り</p> <p>【内容】 エリアの小学校1～2年生と個別支援級の児童を対象にした余暇支援と居場所作り。貸館団体によるプログラム（フラダンス、折紙）を実施しました。</p>	<p>【時期】 3月26日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
部屋利用団体交流会	<p>【目的】 貸し館を利用している福祉保健活動（協力）団体の交流会を実施し、各団体の活動の充実や広がり の推進を図る。</p> <p>【内容】 貸館団体同士の情報交換やケアプラザからの お知らせ（事務連絡、福祉保健活動について等） をしました。</p>	<p>【時期】 2月19日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もちつき大会 & バザー	<p>【目的】 自治会・町内会と協力し、地域住民の交流の機会を図ると共にケアプラザの活動の周知、情報提供を行う</p> <p>【内容】 地域の自治会町内会からなる実行委員会のもちつきと、ボランティア団体等が行うバザーを実施しました。</p>	<p>【時期】 12月2日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズスペース	<p>【目的】 地域で子育て支援、障がい児支援、居場所づくり</p> <p>【内容】 未就園児から小学生までの子どもが、ケアプラザで自由に過ごせるフリースペースとして開催しました。月に1回福祉保健活動団体による昔遊びのコーナーなどもありました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 46回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み毎日 キッズスペース	<p>【目的】 夏休み期間中の地域で子育て支援、障がい児支援、居場所づくり</p> <p>【内容】 夏休み期間中、未就園児から小学生までの子どもが、ケアプラザで自由に過ごせるフリースペースを開催。 「囲碁・将棋サロン」の参加者との合同実施や福祉保健活動団体である「永谷ふるさと村」の「永谷の昔のお話」などの回もありました。</p>	<p>【時期】 7月～8月</p> <p>【回数】 36回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの卓球サロン	<p>【目的】 夏休みや春休みを利用した子どもの健康づくり、居場所づくり、世代間交流</p> <p>【内容】 こども達が安心して卓球を楽しめる場の提供として開催しました。貸館団体（主に卓球の団体）の協力のもと、世代間交流をし、顔の見える関係づくりを行ないました。</p>	<p>【時期】 4月、7～8月、3月</p> <p>【回数】 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父と子の料理教室	<p>【目的】 地域の交流と子育て支援。普段就労等でケアプラザに来る機会の少ない父親にケアプラザを周知する。</p> <p>【内容】 小学生の児童と父親を対象に開催。ハンバーグとミネストローネを作りました。普段就労でケアプラザに来る機会の少ない父親にどのような内容なら参加しようと思うか意見抽出を行いました。</p>	<p>【時期】 9月1日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラレールのへや	<p>【目的】 地域で子育て支援、子育て中の父親の居場所づくり。</p> <p>【内容】 小学校低学年までの子どもとその保護者を対象にプラレール遊びを通して参加者同士の交流の場として開催しました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 24回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人の卓球サロン	【目的】 20歳以上を対象とした、地域での仲間づくり。地域のつながり交流の場づくり。健康づくり。 【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行う大人限定のサロンを実施しました。	【時期】 4月～3月 【回数】 49回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
卓球サロン	【目的】 地域での仲間づくり、交流の場づくり。健康づくり。 【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行いました。春休みと夏休みには参加者の中から「子どもの卓球サロン」のボランティアに活動する等福祉保健活動にも繋がりました。	【時期】 4月～3月 【回数】 95回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサークル交流会	【目的】 子育てグループ支援、子育て支援 【内容】 プール遊び、運動会、デイサービス交流、親子遊びの企画と実施をしました。	【時期】 8月・9月・11月・3月 【回数】 6回 (うち2回は打合せ)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会	【目的】 担い手・人材の発掘 ボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進、介護予防、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくり。 【内容】 シニアボランティアポイント登録についての説明とケアプラザで募集しているボランティア内容の紹介を行いました。	【時期】 11月13日 【回数】 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ママ講座 「ママのための “ベトナム教室”」	<p>【目的】 下永谷地区別計画にもある「中学生との協働」を推進していくため、地域の小中学生の母親よりご意見を頂く。</p> <p>【内容】 昨年度のママ講座の参加者が講師となり、「ベトナム料理教室」を開催しました。参加者に下永谷地区別計画について周知し、中学生との協働について“こんな形であれば地域の中で関わりやすい”等意見抽出を行いました。</p>	<p>【時期】 7月6日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋 サロン	<p>【目的】 男性の地域活動参加のきっかけづくりと仲間づくり。担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場や健康づくり。地域で高齢者の支援。</p> <p>【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら囲碁・将棋を行うサロンを開催しました。夏休みを利用し、「夏休みキッズスペース」と合同で実施し、世代間交流を行うことができました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み自習スペース 「セルフスタ ディ」	<p>【目的】 夏休み期間中の小学生の居場所</p> <p>【内容】 小学生以下の子どもの自習の場として開放しました。開催時は部屋利用団体の方々が見守りのボランティアとして活動しました。</p>	<p>【時期】 7月～8月</p> <p>【回数】 10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プランター菜園	<p>【目的】 多世代間の交流や仲間づくりを支援。新たな生きがい、ボランティア活動につなげていきます。</p> <p>【内容】 プランター菜園講座として1回目は「じゃがいも」2回目は「玉葱」を植えました。収穫後は参加者で調理し食事会を行いました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 6回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声広場	<p>【目的】 地域の方が自宅に引きこもることなく気軽に集える居場所</p> <p>【内容】 歌詞カードを元に歌を歌いました。 課題曲を用意しパート分けをして歌いました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうなんなつこ	<p>【目的】 障がい児の余暇活動支援、地域とのつながり作り</p> <p>【内容】 (午前) 巨大すごろくをしながら団扇づくり (昼食) たこ焼き器で作ったご飯と流しそうめん (午後) 音や色を楽しみながらパラバルーン遊び</p> <p>子ども達が活動している間、午前中は保護者と民生委員の交流の場として「お茶べりタイム」を開催し、昼食もボランティアや子ども達と一緒に食べました。午後は専門職の方に気軽に質問ができる場としてママサロンを開催しました。</p>	<p>【時期】 8月8日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カップケーキを作ろう	<p>【目的】 小学生の居場所づくり、地域参加へのきっかけづくりとしてケアプラザを知ってもらう</p> <p>【内容】 2人1組になり、カップケーキを作りました。 アイシングやガナッシュも作り、デコレーションやラッピングも楽しみました。</p>	<p>【時期】 12月15日</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平戸永谷川 さくらまつり	<p>【目的】 ケアプラザの周知</p> <p>【内容】 ポップコーンの製造、販売。 イベントのチラシやケアプラザのパンフレットの配布等行い、周知を行いました。</p>	<p>【時期】 8月8日</p> <p>【回数】 1回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ティラ	<p>【目的】 手芸ボランティアへの後方支援</p> <p>【内容】 主にデイサービスで使用する布製品の作成をするボランティアグループ。活動がスムーズにできるよう後方支援を行いました。 ボランティアメンバーと話し合い、ティラとしての活動としては今年度で終了となりました。</p>	<p>【時期】 8月8日</p> <p>【回数】 1回</p>